

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

## 入札案件概要書 (工事)

契約番号 : 7158

件名	市道3号線舗装改修工事	
履行場所	海老名市柏ヶ谷三丁目 地内	
工期	令和7年10月6日～令和8年1月15日(102日)	
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	9,273,000円(税込)	8,430,000円(税抜)
最低制限価格	有り(事前算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札(電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAXで受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	130 ほ装 経審 - 点以上 - 点未満	○下請契約の請負代金の合計の額が5千万円(建築一式工事の場合は8千万円)以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	第1区分	第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していること。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く	
	落札件数制限	あり(第1区分及び第2区分の同日開札の <u>工事</u> で、基本数 <u>1</u> 件まで) 詳細は入札説明書等を参照してください。	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任(監理)技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	
事前提出書類 (システム添付)		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していることを証する書類の写し。(次の(1)～(3)のいずれか) (1) 経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書(経営事項審査)の写し ※ <u>経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要</u> (2) <u>(同通知書発行後に社会保険に加入した場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び労働(雇用)保険料の領収書の写し (3) <u>(法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)</u> 健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書	
入札時提出 (システム添付)		○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。 <u>システムへはPDF化して添付してください。</u>	
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)		開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 (落札候補者決定の翌開札日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。) ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類 ※ <u>健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号(3箇所)にマスキング(黒塗り)をして提出してください。</u>	



# 工事説明書

## (特記仕様書)

### 第1条 (目的・趣旨)

本業務は、既設舗装の損傷が進行していることから、これらの改修を行い、安全な交通を確保し、適切な維持管理を行うことを目的とする。

### 第2条 (工事概要)

工事件名 : 市道3号線舗装改修工事  
工事箇所 : 海老名市 柏ヶ谷三丁目 地内  
市道名称 : 海老名市道 3 号線  
事業区分 : 単独事業

### 第3条 (工期)

(1) 契約工期は、令和7年10月6日から令和8年1月15日までとする。

### 第4条 (施工監理)

- (1) 本工事は、海老名市土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準に基づき施工すること。
- ・アスファルト舗装 (施工面積 380 m<sup>2</sup>)  
コア抜き 3個  
※採取位置等については、原則的に監督職員の指示の下で行うこと。  
密度測定 3個 (1,000 m<sup>2</sup>未満 3個 別途 1,000 m<sup>2</sup>に 1個)
- (2) 原則として、アスベストを原料としていない建材を用いて施工すること  
また、使用材料については、アスベストを原材料としていない旨の証明書をメーカーより提出させ、監督職員の確認を得ること。
- (3) 上記に無き内容については、監督職員と協議すること。また、施工計画書に明記し、監督職員の承諾を得ること。

### 第5条 (安全衛生対策)

#### (1) 安全管理

- ① 交通安全対策については、警察及び道路管理者の許可条件を厳守すること。
- ② ヘルメットのアゴ紐は必ず結んでおくこと。  
また、作業中は原則禁煙とし、歩行中の喫煙及び啣え煙草は厳禁とする。

#### (2) 安全訓練等

工事各工種を開始するに際し、元請社員及び協力業者を交え、施工計画書等を用いて、安全施工等について十分に検討すること。

### (3) 気象条件に関すること

次の内容を含めた安全対策を具体的な内容を施工計画書に明記すること。

- ① 現場特性の把握、
- ② 中止・再開基準の設定、
- ③ 迅速に退避するための対応
- ④ 日々の安全管理の徹底、
- ⑤ 現場の点検方法、対応方法及び体制

なお中止基準は以下を標準とし、更に現場特性に応じた基準を設定すること。

- ① 当該工事等箇所が強風注意報・暴風警報が発表された場合
- ② 当該工事等箇所に竜巻注意情報が発表された場合
- ③ 労働安全衛生法及び労働安全衛生規則に該当する場合

### (4) 地震や台風時等の状況報告に関すること

海老名市において、次の場合は速やかに現場点検を実施し、都市技及び海老名市へ報告すること。

- ① 震度4以上の地震が発生した場合、
- ② 台風の予想進路内に入った場合
- ③ 強風注意報が発令された場合、
- ④ 大雨注意報が発令された場合

## 第6条（工程管理）

- (1) 工事着手は契約日から概ね1か月とする。  
契約者の勝手な都合により近隣住民及び道路利用者に十分な周知をしない、又は、監督職員や占用企業者等に負荷を掛けたりするような工程管理をしてはならない。
- (2) 工事は令和7年12月26日までに終わらせ、軽微な作業を除き、令和8年に工事を残さないこと。

## 第7条（仮設備関係）

工事用電力や用水等は、すべて契約業者の負担とする。なお、河川や近隣公園の水等を勝手に使用しないこと。

## 第8条（環境対策関係）

### (1) 海老名環境マネジメント

- ① 周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑えること。
- ② 低騒音・低振動型作業機械を使用すること。なお、写真管理をすること。
- ③ 排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用すること。  
なお、写真管理をすること。
- ④ 周辺住民の生活を妨げない作業時間帯を設定すること。
- ⑤ 工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない

### (2) その他

不法・違法無線局（不法パーソナル無線）を設置したトラック・ダンプカー等を、工事現場に立ち入らせないこと

## 第9条（工事内容等を示す看板（標識）の設置）

- (1) 契約業者は、工事現場に広報板等、別に定めのあるもの他（道路工事現場における表示施設等の設置基準）、工事件名、工事場所、担当部課名、契約業者の住所及び連絡先等を記載した表示板を一般通行人の見やすい場所に設置する。
- (2) 看板による工事予告、迂回のお願に関する看板等は、工事着手日の原則1週間以上前から行うこと。

## 第10条（工事お知らせ文及び説明）

契約業者は、工事お知らせ文を監督職員と協力し作成すること。

また、工事着手前及び工事中は、工事内容を現場周辺住民や地権者に周知し、協力を求めるために必要な措置を講じなければならない。

## 第11条（建設副産物関係）

- (1) アスファルト殻、コンクリート殻（無筋・有筋）、路盤廃材の処分は、建設リサイクル法等を遵守し、再生工場に搬入すること。
- (2) 詳細については、施工計画書に明記し、監督職員の承諾を得ること。

## 第12条（現場代理人・主任（監理）技術者）

- (1) 現場代理人及び主任（監理）技術者は、本業務の遂行に必要な知識を有すること。
- (2) 現場代理人及び主任（監理）技術者は、必要に応じて、地域住民等と円滑なコミュニケーションを取るよう努めなければならない。
- (3) 現場代理人及び主任（監理）技術者は、自身や自身が務める会社の品格を問われるような苦情を出さないよう努めなければならない。

## 第13条（工事全般）

- (1) 本線は海老名市における幹線道路であるため、原則、片側交互通行として車両通行止めとしないこと。  
また、緊急時を除き、事前に住民周知した交通形態を現場判断で変えてはならない。
- (2) 施工範囲については、着工前に監督職員と現地立会いを行い、確認を行うこと。なお、現場施工中においても必要に応じて現地立会いを行うこと。
- (3) 現場着手前に工事支障物の有無を確認し、監督職員に報告すること。
- (4) 近隣店舗や月極駐車場とは、車両等の出入りについて良く調整すること。
- (5) 本工事の既設舗装版取り壊しは、舗装版破砕としている。路面切削機の使用は設計内容と大きなズレが生じるため、本工事においては、例え施工承諾であってもこれを認めない。
- (6) 民地に資材や工事道具等を置かないこと。また、民地や民地の擁壁等に資材や工事道具等を置いたり立て掛けたりしないこと。

- (7) 全工事工程において、5cm以上の段差を生じさせないこと。
- (8) 既設舗装取壊し及び舗装の敷均しの際は、骨材等の飛散防止を行なうこと。  
また、乳剤の散布時には飛散防止の養生を確実に行うこと。  
なお、アスファルト敷設の際、ダンプトラック等の工事車両は乳剤を付着させたまま、既設道路を走り、舗装面を汚さないように対策を講じること。
- (9) コア抜き後の穴埋めはアスファルトモルタル等の材料を使用し、コアを抜いた箇所が脆弱部とならないよう努めること。なお、当該作業も品質管理や出来栄評価の一部とする。
- (10) 施工後の担当課による下検査を受けるにあたり、事前に出来高書類(舗装面積求積図・構造物の出来高測定図等)を監督職員に提出すること。なお、下検査は、契約業者が行う社内検査後に行うものとする。
- (11) 関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち、責務を果たすこと。

### 第13条（境界関係）

官民境界を工事着手前に確認するとともに、境界杭・境界鋸等の境界を示すものを工事で損傷しないよう十分注意すること。

### 第14条（第三者の被害の補償）

第三者の被害の補償について、受注者の工事施工上の不手際による被害（例：通行者、車両へ損害等…）は、すべて受注者の負担とする。

また、軽易な一般補償、工事中の応急措置、クローラーによる道路施設等の損傷並びに設計上の影響幅を越える部分の道路損傷復旧費についても、すべて受注者の負担とする。家屋、その他の工作物に与えた損害が日常生活や営業等に著しく支障をきたす場合は、監督職員の指示により応急処置を講ずること。

### 第15条（関係官公庁その他への手続き）

契約業者は、業務を実施するため、関係官公庁等に対する諸手続きが必要な場合は、速やかに行うものとする。

### 第16条（土地への立入り等）

契約業者は、業務を実施するために国有地、公有地又は私有地に立ち入る場合は、関係者と十分な協調を保ち、監理業務が円滑に進捗するように努めなければならない。なお、やむを得ない理由により、現地への立ち入りが不可能となった場合には、直ちに監督職員に報告し、協議しなければならない。

### 第17条（守秘義務）

契約業者は、業務の処理上で知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

### 第18条（履行報告義務）

契約業者は、契約内容に関わらず、着手前と毎月末に履行報告書を提出し、業務

進捗状況を報告するものとする。

なお、様式は指定様式とし、実施比較表を添付の上、進捗状況が詳細に認出来る様記載するものとする。

#### **第19条（創意等実績報告書）**

工事提出書類の1つである創意工夫等実績報告書を提出する場合、本業務においては、下記の事項に注意すること。

- (1) 地域美化活動等を創意等実績報告とする場合は、専ら実施計画書の提出から工事完成日までの期間行うこと。現場稼働時のみの作業は、これに該当しない。
- (2) 新技術の活用（CAD・施工管理ソフト・測量機器等）については、発注者及び契約者双方にメリットがあるものし、従来工法でも十分な成果が得られると監督職員が判断したものは、これに該当しない。

#### **第20条（法定外の労災保険の加入）**

本業務において、契約業者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入しなければならない。また、契約業者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示しなければならない。

#### **第21条（その他）**

本業務を進める上で疑義が生じた場合は、速やかに監督職員と協議の上、実施するものとする。また、協議については書面(打合せ記録簿)で行うものとする。

また、本特記仕様書及び別紙施工条件明示書に定めのない疑義事項については監督職員と協議のうえ、履行するものとする。

なお、契約業者は監督職員職員の許可なく、本特記仕様書及び別紙施工条件明示書に定めた事項から逸れて作業してはならない。仮に違反があった場合は、最終的な工事評点に影響が及ぶことを受注者は承知すること。

## 舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

### (趣旨)

第1条 この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

### (適用)

第2条 海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

### (処理方法)

第3条 舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

### (条件)

第4条 受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

2 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

### (提出書類等)

第5条 受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

### (その他)

第6条 この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

# 施工条件明示書（土木工事共通）

## 1 工事概要

発注者	海老名市		
工事件名	市道3号線舗装改修工事		
工事場所	海老名市 柏ヶ谷三丁目 地内		
工事目的	本工事は、既存舗装の劣化を改修し、安全な交通網の確保と適切な維持管理を行うものです。		
工事概要	工事延長 L=66.1m 1 取壊し工 1式 1 舗装工 1式 1 区画線工 1式 1 仮設工 1式		
契約工期	令和7年10月6日 から 令和8年1月15日 まで		
事業区分	<input type="checkbox"/> 補助金事業	<input type="checkbox"/> 国庫	
		<input type="checkbox"/> 県費	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業		
設計区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単独積算		
	<input type="checkbox"/> 合算積算		工事
			工事

## 2 積算諸条件

主たる工種 : 舗装工事  
 施工地域・工事場所区分 : 市街地(DID補正)  
 契約保証の方法 : 発注者が金銭的保証を必要とする  
 施工パッケージの使用（一部使用含む）  有  無  
 週休二日制確保工事該当の有無  有  無

### 【使用歩掛及び単価等】

土木工事標準積算基準書 適用年版：令和 6年 7月  
 諸経費率 適用年版：令和 6年 7月  
 下水道用設計標準歩掛表 適用年版：令和 年版  
 土木工事資材等単価表 適用年版：令和 7年 6月  
 刊行物 適用年版：令和 年 月  
 特別調査 適用年版：令和 年 月  
 海老名市見積単価等 適用年版：令和 年度  
 その他（ ） 適用年版：令和 年 月

3 施工条件

【1】 工程関係	1	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	<input type="checkbox"/> 無 (他工事件名等) <input type="checkbox"/> 有 (工期、内容等)
	2	当工事における施工時期の制約について	<input type="checkbox"/> 無 (制約を受ける施工内容等) <input type="checkbox"/> 有 (施工時期等)
	3	施工時間について	<input type="checkbox"/> 昼間施工 (その他特記事項) <input type="checkbox"/> 夜間施工 (一部含む)
	4	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	<input type="checkbox"/> 無 (関係機関名) <input type="checkbox"/> 有
	5	工事着手前に地上物件(家屋調査)、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	<input type="checkbox"/> 無 (対象内容) <input type="checkbox"/> 有
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。		
	6	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	<input type="checkbox"/> 無 (詳細内容、作業不能日数等) <input type="checkbox"/> 有
【2】 用地関係	1	工事用地等の未処理部分について(用地買収状況について)	<input type="checkbox"/> 無 (用地未取得部分等) <input type="checkbox"/> 有 (取得予定年月日等)
	2	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	<input type="checkbox"/> 無 (使用場所、期間、借用条件、復旧方法等) <input type="checkbox"/> 有
	3	使用後の復旧条件	<input type="checkbox"/> 無 (復旧内容等) <input type="checkbox"/> 有
【3】 公害関係	1	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	<input type="checkbox"/> 無 (建設機械と制限内容) 騒音規制法・振動規制法 <input type="checkbox"/> 有 (作業時間と制限内容)
	2	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	<input type="checkbox"/> 無 (対策内容) <input type="checkbox"/> 有

【4】 安全対策 関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （指定内容） <input type="checkbox"/> 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> 上水道 <input checked="" type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	3	交通誘導警備員の配置について	<input type="checkbox"/> 無 （1）交通誘導員の配置 工事内容に応じて2名～5名の交通誘導警備員を配置 <input checked="" type="checkbox"/> 有 （2）配置期間 現場実施期間中
【5】 工事用道 路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （搬入経路・使用期間等の制限） <input type="checkbox"/> 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （仮設道路に関する安全施設） <input type="checkbox"/> 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【6】 建設副産 物関係	1	建設発生土が発生する場合について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （建設発生土の処分先） 名称： <input type="checkbox"/> 有 住所：
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input type="checkbox"/> コンクリート塊 <input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 建設発生木材 <input type="checkbox"/> 建設発生木材（伐木・除根材） <input checked="" type="checkbox"/> 建設汚泥 <input type="checkbox"/> 建設混合廃棄物 <input type="checkbox"/> 金属くず <input type="checkbox"/> その他（ ） ※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること
※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。			
【7】 工事支障 物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	<input type="checkbox"/> 無 （対象内容） <input type="checkbox"/> 電柱 <input checked="" type="checkbox"/> 上水道 <input checked="" type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ガス管 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 架空電線 <input type="checkbox"/> 標識・看板 <input type="checkbox"/> その他（ ）
【8】 薬液注入 関係	1	薬液注入について	<input checked="" type="checkbox"/> 無 （対象内容） 工法区分： 使用材料： <input type="checkbox"/> 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：

【9】 その他	1	工事現場発生品がある場合について	<input type="checkbox"/> 無 (品名、数量等) <input type="checkbox"/> 有
	2	支給材料及び貸与品がある場合について	<input type="checkbox"/> 無 (品名、数量等) <input type="checkbox"/> 有
	3	特殊・特定使用材料を使用する場合及び資材搬入等に制限がある場合について	<input type="checkbox"/> 無 (品名、数量、搬入制限等) <input type="checkbox"/> 有
	4	発生売却品評価額(スクラップ等)を計上している場合について	<input type="checkbox"/> 無 (品名等) <input type="checkbox"/> 有
	5	設計条件について	<p>① 歩行者、車両の通行に支障のないように作業計画を立て周辺地域に配慮すること。</p> <p>② 関係自治会、周辺家屋への工事の周知を行い、トラブルのないように努めること</p> <p>③ 構造物・境界杭については、適切な管理を行い、トラブルのないように努めること。</p> <p>④ 工事箇所は、工業地内であるため、施工時間等調整すること。また、安全管理に留意すること。</p> <p>⑤ 工事施工中の路上駐車については十分注意すること。</p> <p>⑥ 道路縦断・横断または、人孔(空気弁、バタフライ弁、集水柵等)の高さを測量し、高さ調整が必要となる場合は、事前に市担当に報告すること。</p> <p>なお、調整の時間を考慮し、工程管理を行うこと。</p>

※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

令和 7 年 度

市 道 3 号 線 舗 装 改 修 工 事 設 計 書

番 号	R6以降、7-4、単価7-6	施 工 年 度	令和7年度
名 称	市道3号線舗装改修工事		
場 所	海老名市 柏ヶ谷三丁目 地内		
施 工 主	海老名市	概要 工事延長 L=66.1m  1 取り壊し工 1.0式 1 舗装工 1.0式 As表層工(改質As密粒Ⅱ型(20)・t=5cm) A=380㎡ 上層路盤工(再生AS安定処理・t=10cm) A=380㎡ 1 区画線工 1.0式 1 仮設工 1.0式	
設 計 区 分			
路 線 名	市道3号線		
期 間	令和 7年 10月 6日 ~ 令和 8年 1月 15日		
日 数	102 日		
部 課 名	まちづくり部道路管理課		
積 算 担 当	維持補修係		
合 計 額			
価 格			
消費税相当額			

















C- 1号単価表(施工P-01)

積算単位:m

標準単価:

舗装版切断/アスファルト舗装版、15cm以下

舗装版種別:アスファルト舗装版、アスファルト舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			15.42			
K 1	コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型) 湿式/切削深20cm級 フレート径φ56cm	供/日	10.49			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			57.13			
R 1	特殊作業員	人	19.60			
R 2	土木一般世話役	人	10.55			
R 3	普通作業員	人	8.73			
R 4						
R 5						
材料Z			27.45			
Z 1	コンクリートカッタ(フレート)/径18インチ	枚	23.29			
Z 2	ガソリン/レギュラー, スタンド渡し	ℓ	2.83			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{10.49}{100} \times \frac{15.42}{10.49} \right) \times \frac{15.42}{10.49} \right. \\
 & + \left( \frac{19.60}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} + \frac{10.55}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} + \frac{8.73}{100} \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} \right) \times \frac{57.13}{19.60+10.55+8.73} \\
 & + \left( \frac{23.29}{100} \times \frac{27.45}{23.29+2.83} + \frac{2.83}{100} \times \frac{27.45}{23.29+2.83} \right) \times \frac{27.45}{23.29+2.83} \\
 & \left. + \frac{100-15.42-57.13-27.45}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$





C- 3号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

舗装版破碎/アスファルト舗装版、無し、必要、15cm以下

舗装版種別:アスファルト舗装版、障害等の有無:無し、騒音振動対策:必要、舗装版厚:15cm以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			31.76			
K 1	バックホ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機)/開口幅735~850mm 破碎力550~980kN	供/日	21.93			
K 2	バックホ(クローラ、後超小旋回・超低騒音)賃料/山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	日	9.83			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			62.64			
R 1	運転手(特殊)	人	28.07			
R 2	普通作業員	人	24.15			
R 3	土木一般世話役	人	10.42			
R 4						
R 5						
材料 Z			5.60			
Z 1	軽油/ハトール給油	ℓ	5.60			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{21.93}{100} \times \frac{31.76}{21.93+9.83} + \frac{9.83}{100} \times \frac{31.76}{21.93+9.83} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{28.07}{100} \times \frac{62.64}{28.07+24.15+10.42} + \frac{24.15}{100} \times \frac{62.64}{28.07+24.15+10.42} + \frac{10.42}{100} \times \frac{62.64}{28.07+24.15+10.42} \right) \\
 & + \left( \frac{5.60}{100} \times \frac{5.60}{5.60} \right) \\
 & \left. + \frac{100-31.76-62.64-5.60}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



C- 4号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

殻運搬/舗装版破砕、機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm超)又は(騒音対策  
 殻発生作業:舗装版破砕、積込工法区分:機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm超)又は(騒音対策必要)  
 DID区間の有無:有り、運搬距離:3.0km以下

名	称	規	格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘	要
機械K					44.95				
K 1	タンポトラック オンロード・ディーゼル/10t積級+良好:タイヤ損耗費及び補修費			供/日	44.95				
K 2									
K 3									
K 4									
K 5									
労務R					38.97				
R 1	運転手(一般)			人	38.97				
R 2									
R 3									
R 4									
R 5									
材料Z					16.08				
Z 1	軽油/パトロール給油			ℓ	16.08				
Z 2									
Z 3									
Z 4									
Z 5									
市場S									

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{44.95}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{44.95}{44.95} \right. \\
 & + \left( \frac{38.97}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{38.97}{38.97} \\
 & + \left( \frac{16.08}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{16.08}{16.08} \\
 & \left. + \frac{100-44.95-38.97-16.08}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



C- 5号単価表(施工P-01)

不陸整正/有り、29mm以上34mm未満

補足材料の有無:有り、補足材料平均厚さ:29mm以上34mm未満

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			16.68			
K 1	モータグレーダ 土工用 排対型(2次基準)/プレート幅3.1m	供/日	8.14			
K 2	ロータリーマカダム 排対型(2次基準)/運転質量10t 締固め幅2.1m	供/日	6.45			
K 3	タイヤロー(普通型)賃料/質量 8~20 t (排出ガス対策型含む)	日	2.09			
K 4						
K 5						
労務R			49.70			
R 1	運転手(特殊)	人	31.83			
R 2	特殊作業員	人	9.28			
R 3	普通作業員	人	6.92			
R 4	土木一般世話役	人	1.67			
R 5						
材料Z			33.62			
Z 1	再生粒度調整砕石/RM-40	m <sup>3</sup>	27.83			
Z 2	軽油/バートル給油	ℓ	5.79			
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{8.14}{100} \times \frac{16.68}{8.14+6.45+2.09} + \frac{6.45}{100} \times \frac{16.68}{8.14+6.45+2.09} + \frac{2.09}{100} \times \frac{16.68}{8.14+6.45+2.09} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{31.83}{100} \times \frac{49.70}{31.83+9.28+6.92+1.67} + \frac{9.28}{100} \times \frac{49.70}{31.83+9.28+6.92+1.67} + \frac{6.92}{100} \times \frac{49.70}{31.83+9.28+6.92+1.67} + \frac{1.67}{100} \times \frac{49.70}{31.83+9.28+6.92+1.67} \right) \\
 & + \left( \frac{27.83}{100} \times \frac{33.62}{27.83+5.79} + \frac{5.79}{100} \times \frac{33.62}{27.83+5.79} \right) \\
 & \left. + \frac{100-16.68-49.70-33.62}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



C- 6号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
入力数量: 100mm

上層路盤(車道・路肩部) / 瀝青安定処理材(40)、3.0m超、実数入力、プライムコート PK-

材料: 瀝青安定処理材(40)、平均幅員: 3.0m超、1層当り平均仕上り厚: 実数入力、瀝青材料種類: プライムコート PK-3

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			0.93			
K 1	アスファルトフィニッシャ賃料 / ホール型、舗装幅2.3~6.0m	日	0.60			
K 2	タイヤローラ(普通型)賃料 / 質量 8~20 t (排出ガス対策型含む)	日	0.09			
K 3	ロートローラ(マカダム)賃料 / 質量 10~12 t (排出ガス対策型含む)	日	0.09			
K 4						
K 5						
労務 R			6.59			
R 1	普通作業員	人	2.36			
R 2	運転手(特殊)	人	1.35			
R 3	特殊作業員	人	1.31			
R 4	土木一般世話役	人	0.47			
R 5						
材料 Z			92.48			
Z 1	再生アスファルト混合物(安定処理材) / 再生AS安定処理(30)	t	87.17			
Z 2	アスファルト乳剤 / PK-3 プライムコート用	ℓ	4.92			
Z 3	軽油 / ハトロール給油	ℓ	0.33			
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{0.60}{100} \times \frac{0.60}{0.60+0.09+0.09} + \frac{0.09}{100} \times \frac{0.09}{0.60+0.09+0.09} + \frac{0.09}{100} \times \frac{0.09}{0.60+0.09+0.09} \right) \times \frac{0.93}{0.60+0.09+0.09} \right. \\
 & + \left( \frac{2.36}{100} \times \frac{2.36}{2.36+1.35+1.31+0.47} + \frac{1.35}{100} \times \frac{1.35}{2.36+1.35+1.31+0.47} + \frac{1.31}{100} \times \frac{1.31}{2.36+1.35+1.31+0.47} + \frac{0.47}{100} \times \frac{0.47}{2.36+1.35+1.31+0.47} \right) \times \frac{6.59}{2.36+1.35+1.31+0.47} \\
 & + \left( \frac{87.17}{100} \times \frac{87.17}{87.17+4.92+0.33} + \frac{4.92}{100} \times \frac{4.92}{87.17+4.92+0.33} + \frac{0.33}{100} \times \frac{0.33}{87.17+4.92+0.33} \right) \times \frac{92.48}{87.17+4.92+0.33} \\
 & \left. + \frac{100-0.93-6.59-92.48}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



C- 7号単価表(施工P-01)

表層(車道・路肩部) / 3.0m超、実数入力、密粒度アスコン(20)、タックコート PK-4

平均幅員:3.0m超、1層当り平均仕上り厚:実数入力、材料:密粒度アスコン(20)、瀝青材料種類:タックコート PK-4

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:  
入力数量: 50mm

名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単 価 (東 京)	単 価	摘 要
機械 K		1.43			
K 1 アスファルトフィニッシャ賃料 / ホール型、舗装幅2.3~6.0m	日	0.91			
K 2 タイローラ(普通型)賃料 / 質量 8~20 t (排出ガス対策型含む)	日	0.14			
K 3 ロートローラ(マカダム)賃料 / 質量 10~12 t (排出ガス対策型含む)	日	0.14			
K 4					
K 5					
労務 R		9.93			
R 1 普通作業員	人	3.56			
R 2 運転手(特殊)	人	2.04			
R 3 特殊作業員	人	1.98			
R 4 土木一般世話役	人	0.70			
R 5					
材料 Z		88.64			
Z 1 改質アスファルト混合物 / 改質As 密粒 II型(20)DS3000	t	85.53			
Z 2 アスファルト乳剤 / PK-4 タックコート用	ℓ	2.53			
Z 3 軽油 / ハトロール給油	ℓ	0.49			
Z 4					
Z 5					
市場 S					

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{0.91}{100} \times \frac{1.43}{0.91+0.14+0.14} + \frac{0.14}{100} \times \frac{1.43}{0.91+0.14+0.14} + \frac{0.14}{100} \times \frac{1.43}{0.91+0.14+0.14} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{3.56}{100} \times \frac{9.93}{3.56+2.04+1.98+0.70} + \frac{2.04}{100} \times \frac{9.93}{3.56+2.04+1.98+0.70} + \frac{1.98}{100} \times \frac{9.93}{3.56+2.04+1.98+0.70} + \frac{0.70}{100} \times \frac{9.93}{3.56+2.04+1.98+0.70} \right) \\
 & + \left( \frac{85.53}{100} \times \frac{88.64}{85.53+2.53+0.49} + \frac{2.53}{100} \times \frac{88.64}{85.53+2.53+0.49} + \frac{0.49}{100} \times \frac{88.64}{85.53+2.53+0.49} \right) \\
 & \left. + \frac{100-1.43-9.93-88.64}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

















C- 15号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

表層(歩道部) / 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、実数入力、再生密粒度

入力数量: 25mm

平均幅員: 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、1層当り平均仕上り厚: 実数入力、材料: 再生密粒度アスコン(13)、瀝青材料種類: 無し

名 称 / 規 格	単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K		0.47			
K 1 振動ローラ(舗装用) ハンドガート式 / 運転質量0.5~0.6t	供/日	0.35			
K 2 振動コンパクタ 前進型 / 機械質量40~60kg	供/日	0.09			
K 3					
K 4					
K 5					
労務 R		50.62			
R 1 特殊作業員	人	21.87			
R 2 普通作業員	人	19.54			
R 3 土木一般世話役	人	5.90			
R 4					
R 5					
材料 Z		48.91			
Z 1 再生アスファルト混合物 / 再生密粒度アスコン(13)	t	48.73			
Z 2 カソリン / レキユール, スタンド渡し	ℓ	0.12			
Z 3 軽油 / ハンドロール給油	ℓ	0.05			
Z 4					
Z 5					
市場 S					

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{0.35}{100} \times \frac{0.35}{0.35+0.09} + \frac{0.09}{100} \times \frac{0.09}{0.35+0.09} \right) \times \frac{0.47}{0.35+0.09} \right. \\
 & + \left( \frac{21.87}{100} \times \frac{21.87}{21.87+19.54+5.90} + \frac{19.54}{100} \times \frac{19.54}{21.87+19.54+5.90} + \frac{5.90}{100} \times \frac{5.90}{21.87+19.54+5.90} \right) \times \frac{50.62}{21.87+19.54+5.90} \\
 & + \left( \frac{48.73}{100} \times \frac{48.73}{48.73+0.12+0.05} + \frac{0.12}{100} \times \frac{0.12}{48.73+0.12+0.05} + \frac{0.05}{100} \times \frac{0.05}{48.73+0.12+0.05} \right) \times \frac{48.91}{48.73+0.12+0.05} \\
 & \left. + \frac{100-0.47-50.62-48.91}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



C- 16号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>2</sup>

標準単価:

舗装版破碎/アスファルト舗装版、有り、4cm以下、有り

舗装版種別:アスファルト舗装版、障害等の有無:有り、舗装版厚:4cm以下、積込作業の有無:有り

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械 K			1.66			
K 1	空気圧縮機(可搬式・エンジン駆動・スクュ型) 賃料/吐出量3.5~3.7m <sup>3</sup> /min(排出ガス対策型含む)	日	1.29			
K 2	さく岩機 コンクリートブレイカ/20kg級	供/日	0.37			
K 3						
K 4						
K 5						
労務 R			96.31			
R 1	特殊作業員	人	52.57			
R 2	普通作業員	人	43.74			
R 3						
R 4						
R 5						
材料 Z			2.03			
Z 1	軽油/ハトロール給油	ℓ	2.03			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場 S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{1.29}{100} \times \frac{1.66}{1.29+0.37} + \frac{0.37}{100} \times \frac{1.66}{1.29+0.37} \right) \right. \\
 & + \left( \frac{52.57}{100} \times \frac{96.31}{52.57+43.74} + \frac{43.74}{100} \times \frac{96.31}{52.57+43.74} \right) \\
 & + \left( \frac{2.03}{100} \times \frac{2.03}{2.03} \right) \\
 & \left. + \frac{100-1.66-96.31-2.03}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$



C- 17号単価表(施工P-01)

積算単位: m<sup>3</sup>

標準単価:

殻運搬/舗装版破碎、機械積込(小規模土工)、有り、3.0km以下

殻発生作業:舗装版破碎、積込工法区分:機械積込(小規模土工)、DID区間の有無:有り、運搬距離:3.0km以下

名 称 / 規 格		単 位	構 成 比	単 価 (東京)	単 価	摘 要
機械K			18.57			
K 1	ダンプトラック オンロード・ディーゼル/2t積級+良好:タイヤ損耗費及び補修費	供/日	18.57			
K 2						
K 3						
K 4						
K 5						
労務R			72.35			
R 1	運転手(一般)	人	72.35			
R 2						
R 3						
R 4						
R 5						
材料Z			9.08			
Z 1	軽油/パトロール給油	ℓ	9.08			
Z 2						
Z 3						
Z 4						
Z 5						
市場S						

P' =

$$\begin{aligned}
 & \times \left\{ \left( \frac{18.57}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{18.57}{18.57} \right. \\
 & + \left( \frac{72.35}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{72.35}{72.35} \\
 & + \left( \frac{9.08}{100} \times \text{-----} \right) \times \frac{9.08}{9.08} \\
 & \left. + \frac{100-18.57-72.35-9.08}{100} \right\} =
 \end{aligned}$$

## 市道3号線舗装改修工事

## 材料費(30)

## 材料調書全体明細表

(単位:円)

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	備 考
再生粒度調整砕石	RM-40	m <sup>3</sup>	15.203			
トラフィックベント 溶融型	3種1号 ビーズ <sup>®</sup> 15~18 白	kg	30.096			
ガラスビーズ <sup>®</sup>	0.106~0.850mm	kg	1.32			
接着用プライマー	区画線用	kg	1.32			
改質アスファルト混合物	改質As 密粒 II型(20)DS3000	t	47.859			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン(13)	t	7.261			
再生アスファルト混合物(安定処理材)	再生AS安定処理(30)	t	95.695			
カソリン	レギュラー, スタント <sup>®</sup> 渡し	ℓ	12.239			
軽油	パトロール給油	ℓ	326.806			
アスファルト乳剤	PK-3 プライムコート用	ℓ	478.205			
アスファルト乳剤	PK-4 タックコート用	ℓ	163.565			
コンクリートカッタ(プレート <sup>®</sup> )	径18インチ	枚	0.186			
材料費計						



数 量 計 算 書

工 種	計 算 式	単 位	数 量	備 考
<b>○取壊し工</b> 舗装版切断 ・ t=15cm以下  舗装版切断濁水処理工 ・ 北部地区 t=15cm  舗装版破碎工  殻運搬  廃材処理料 (As殻)	$5.87 + 5.08 + 66.10$  ○取壊し数量計算書より 380.2  ○取壊し数量計算書より $380.2 \times 0.15$	m  式  m2  m3  m3	77  1  380  57  57	77.05  —  380.20  57.03  57.03
<b>○舗装工</b> 不陸修正工 ・ RC-40、補足材3cm  上層路盤 ・ 再生AS安定処理 ・ t=10cm、PC  表層工 ・ 改質As密粒Ⅱ型(20) ・ t=5cm、TC	○舗装数量計算書より 380.2  ○舗装数量計算書より 380.2  ○舗装数量計算書より 380.2	m3  m3  m3	380  380  380	380.20  380.20  380.20
<b>○区画線工</b> 区画線 ・ 溶融式(手動)	○道路標示の文字記号等規格及び換算より W15白色・破線  文字記号等白色	m  m	30  19	30.0  19.8
<b>○雑工</b> 段差すり付け設置撤去	○段差すり付け工計算書より	m2	120	120.3

## 取 壊 し 数 量 計 算 書

測 点				舗装版破碎工 15cm				
				距 離	幅	平均幅員	面 積	備 考
(市道3号線)								
NO	0	+	0.000	—	5.05	—	—	
NO	0	+	9.000	9.000	5.05	5.05	45.45	
NO	0	+	9.000	—	5.53	—	—	
NO	0	+	11.500	2.500	5.87	5.70	14.25	
NO	1	+	0.000	8.500	5.87	5.87	49.90	
NO	2	+	0.000	20.000	5.87	5.87	117.40	
NO	3	+	0.000	20.000	5.87	5.87	117.40	
NO	3	+	6.100	6.100	5.87	5.87	35.81	
合 計							<b>380.2</b>	

## 舗装数量計算書(1)

測 点				①不陸整正工 ②上層路盤(再生AS安定処理)・t=100mm ③表層工(改質As密粒Ⅱ型(20))・t=50mm				
				距離	幅	平均幅員	面積	備考
(市道3号線)								
NO	0	+	0.000	—	5.05	—	—	
NO	0	+	9.000	9.000	5.05	5.05	45.45	
NO	0	+	9.000	—	5.53	—	—	
NO	0	+	11.500	2.500	5.87	5.70	14.25	
NO	1	+	0.000	8.500	5.87	5.87	49.90	
NO	2	+	0.000	20.000	5.87	5.87	117.40	
NO	3	+	0.000	20.000	5.87	5.87	117.40	
NO	3	+	6.100	6.100	5.87	5.87	35.81	
合 計							<b>380.2</b>	

# 道路標示の文字記号等規格及び換算

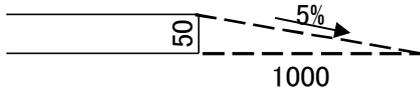
(単位:m)

路線名	区画線計算書								備考
	W15 黄色・実線	W15 白色・実線	W15 白色・破線	W30 ゼブラ	W45 ゼブラ	文字記号 等	文字記号 等		
市道3号線	中心線			30.0					
	◇						19.8	1箇所	
	計	0.0 ≒ 0	0.0 ≒ 0	30.0 ≒ 30	0.0 ≒ 0	0.0 ≒ 0	0.0 ≒ 0	19.8 ≒ 19	※矢印・文字・記号については、所要材料長を計上

## 段差摺付舗装数量集計表

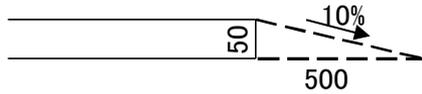
### 1 段差摺付

(1)横断方向



※アスファルトにて摺付とする。

(2)縦断方向



(3)人孔部分



1箇所あたり  $1.325^2 \pi - 0.325^2 \pi \approx 5.18 (\text{m}^2)$

	種別	延長 (m)	算式A=	面積 (m <sup>2</sup> )
①	(1)横断方向	10.9	$(5.87+5.05) \times 1.0\text{m}$	10.9
②	(2)横断方向	198.1	$(66.1 \times 3) \times 0.5\text{m}$	99.1

	種別	箇所	算式	面積 (m <sup>2</sup> )
③	(3)人孔部分 φ 600	2	5.18 × 2	10.4

汚水×2

設置撤去運搬処分	① ② ③	120.3 m <sup>2</sup>
合計面積		120.3 m <sup>2</sup>

1日未満で完了する作業の積算について(I-12-①-1)

	単位	設計数量 (Xi)	1日あたり 標準作業量 (Di)
実線 W=15cm	m	0	1000
破線 W=15cm	m	0	900
ゼブラ W=30cm	m	0	525
ゼブラ W=45cm	m	30	450
矢印・記号・文字	m	19	400
消去(削り式)	m	0	300

$$\Sigma (Xi/Di) = 0 / 1000 + 0 / 900 + 0 / 525 + 30 / 450 + 19 / 400 = 0.114 < 0.50 \text{ (半日)}$$

$$\alpha \Sigma (Xi/Di) = \alpha \times ( 0 / 1000 + 0 / 900 + 0 / 525 + 30 / 450 + 19 / 400 ) = 1.00$$

$$\alpha = 8.759 \approx 8.76$$

修正作業日当たり標準作業

実線 W=15cm D'1 =  $\alpha \times X1 = 8.76 \times 0 = 0$  m/日  
( 0 m/半日 )

破線 W=15cm D'2 =  $\alpha \times X2 = 8.76 \times 0 = 0$  m/日  
( 0 m/半日 )

ゼブラ W=30cm D'3 =  $\alpha \times X3 = 8.76 \times 0 = 0$  m/日  
( 0 m/半日 )

ゼブラ W=45cm D'4 =  $\alpha \times X4 = 8.76 \times 30 = 263$  m/日  
( 131 m/半日 )

矢印・記号・文字 D'5 =  $\alpha \times X4 = 8.76 \times 19 = 166$  m/日  
( 83 m/半日 )

消去(削り式) D'6 =  $\alpha \times X4 = 8.76 \times 0 = 0$  m/日  
( 0 m/半日 )

実線 W=15cm : 労務費は  $\frac{0}{(半日分)}$  m 材料費は  $\frac{0}{(設計数量)}$  m

破線 W=15cm : 労務費は  $\frac{0}{(半日分)}$  m 材料費は  $\frac{0}{(設計数量)}$  m

ゼブラ W=30cm : 労務費は  $\frac{0}{(半日分)}$  m 材料費は  $\frac{0}{(設計数量)}$  m

ゼブラ W=45cm : 労務費は  $\frac{131}{(半日分)}$  m 材料費は  $\frac{30}{(設計数量)}$  m

矢印・記号・文字 : 労務費は  $\frac{83}{(半日分)}$  m 材料費は  $\frac{19}{(設計数量)}$  m

計画平面図 S=1/250

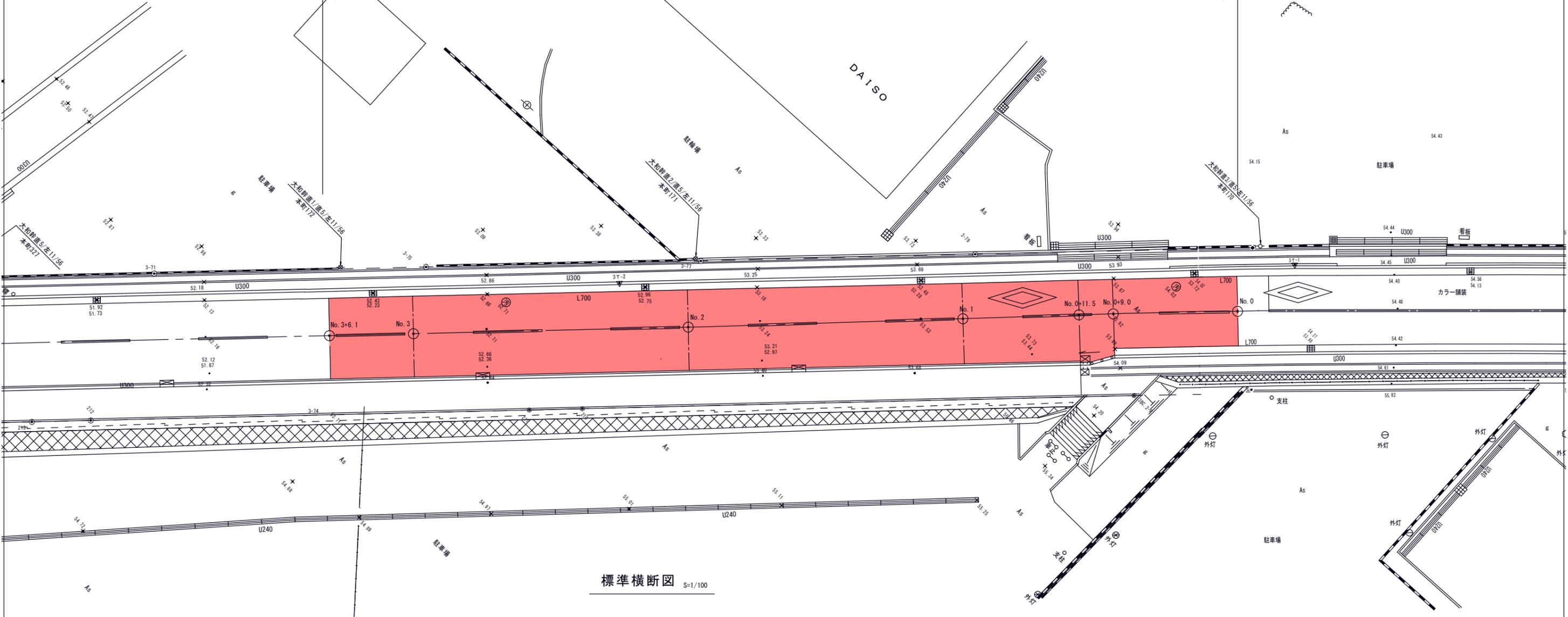


施工延長 L=66.1m 幅員 W=5.05~5.87m

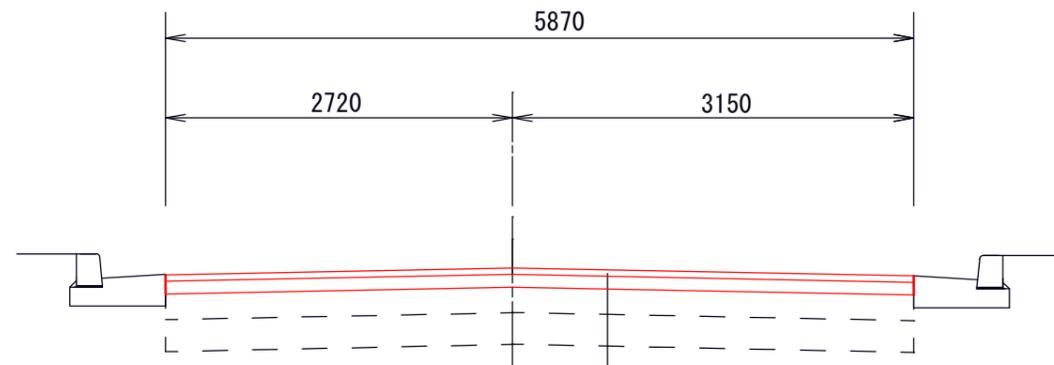
As舗装版切断工 L=77.0m 舗装版切断濁水処理工 N=1式 舗装版破碎工 A=380.2m<sup>2</sup>

表層工 (改質As密粒Ⅱ型 (20)・t=5cm) A=380.2m<sup>2</sup> 上層路盤工 (再生AS安定処理・t=10cm) A=380.2m<sup>2</sup> 不陸整正工 (補足材あり) A=380.2m<sup>2</sup>

区画線工 破線・実線15cm L=30.0m 矢印文字記号等 L=19.8m 仮設工 1式



標準横断面 S=1/100



表層 (改質アスファルト密粒Ⅱ型 (20)) t=50mm  
 上層路盤 (再生アスファルト安定処理) t=100mm

既設舗装構成

As (密粒) t=50mm  
 安定処理 t=100mm  
 RM-40 t=200mm  
 RC-40 t=250mm

工事名	市道 3 号線舗装改修工事		
路線名	市道 3 号線		
工事場所	海老名市	柏ヶ谷三丁目	地内
図面名	計画平面図・標準横断面	縮尺	図示
図面番号	全 1 葉の内第 1 号		
神奈川県海老名市役所			